

『インドにおける教育投資が経済発展に与える影響：クリギングによる空間補間データを用いた実証分析』

青山学院大学大学院 経済学研究科 公共・地域マネジメント専攻
博士後期課程 佐藤惣哉

2014年4月21日

要旨

本稿での研究は、教育の質が労働者の生産性に甚大な影響を与え、ひいては一国の経済成長率や生活水準の向上に寄与するという人的資本論に基づいている。本稿では、前期初等教育、後期初等教育、中等教育のそれぞれの教育段階において、2001年から2005年までのインド州別の教育の質を表す時系列データを用い、教育が経済成長に与える影響について実証分析を行った。さらにインド28州と7つの連邦直轄領のうち、いくつかの州では入手することができなかったデータを、空間自己共分散によるクリギングを用い、空間補間によって欠損データを補間した上で推計を行い、補間前のデータを用いた推計結果との比較を行った。

分析の結果としては、補間前と補間後の推定結果の共通点として、インドの教育には男女の格差、州ごとの格差がいまだに存在することから、全教育段階において女子の就学率を向上させる政策、農業シェアが高い州に教育を普及させ、工業化を推進させる政策をとることが有効であると考えられる。州固有の固定効果から得られた結果としては、インドのような物的資本の蓄積がまだ初期段階にある経済において、マクロレベルでGDPに大きく貢献するのは道路などのインフラ関連の物的資本であり、教育の質などの人的資本の効果は限定的であるということが示唆された。